

JIS

立体自動倉庫システムー用語

JIS B 8941 : 2012

(JSIM/JSA)

平成 24 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 物流技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|-----------------------|
| (委員長) | 増井 忠幸 | 東京都市大学 |
| (委員) | 安藤 弘一 | 株式会社日通総合研究所 |
| | 石井 徹郎 | 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 |
| | 伊藤 勝利 | 社団法人全日本トラック協会 |
| | 梅崎 重夫 | 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 |
| | 岡田 和夫 | 岡田工業株式会社 |
| | 奥山 正二 | 社団法人日本産業機械工業会 |
| | 小田 和裕 | 日本貨物鉄道株式会社 |
| | 酒井 光彦 | 公益社団法人日本包装技術協会 |
| | 関谷 佑介 | 社団法人日本船主協会 (日本郵船株式会社) |
| | 高瀬 健一郎 | 社団法人日本産業車両協会 |
| | 宮部 俊一 | 社団法人日本航空宇宙工業会 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 3.8.1 改正：平成 24.4.20

官 報 公 示：平成 24.4.20

原 案 作 成 者：社団法人日本産業機械工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-6821)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：物流技術専門委員会 (委員長 増井 忠幸)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|---------------|-----|
| 序文..... | 1 |
| 1 適用範囲..... | 1 |
| 2 分類..... | 1 |
| 3 用語及び定義..... | 1 |
| 解 説..... | 34 |
| 索 引..... | 39 |

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本産業機械工業会（JSIM）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS B 8941:1999** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

立体自動倉庫システム—用語

Automated storage and retrieval system—Vocabulary

序文

この規格は、1991年に制定され、その後2回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は1999年に行われたが、今回、その後のJIS B 8942及びJIS B 8943の改正に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、スタッカクレーン、入出庫ステーション及びラックで構成する立体自動倉庫システムに関する用語及び定義について規定する。

2 分類

用語は、次のとおり五つに分類する。

- a) 全般
- b) スタッカクレーン
- c) ラック
- d) 制御
- e) 運用

3 用語及び定義

主な用語及びその定義は、次による。

なお、参考として対応英語を示す。

注記 定義の文章の中で用語の後の丸括弧の数字は、この規格における用語の番号を示す。

a) 全般

1) 用途に関する用語

| 番号 | 用語 | 定義 | 対応英語 (参考) |
|------|-----------|---------------------------------|-------------------------|
| 1001 | 原材料立体自動倉庫 | 製造に用いる原料又は材料を一時保管する立体自動倉庫。 | AS/RS for raw materials |
| 1002 | 部品立体自動倉庫 | 加工・組立の工程内で部品を一時保管する立体自動倉庫。 | AS/RS for parts |
| 1003 | 工程間立体自動倉庫 | 工程間の需給調整のために、未完成品を一時保管する立体自動倉庫。 | AS/RS in process |
| 1004 | 製品立体自動倉庫 | 完成した品物を出荷までの間一時保管する立体自動倉庫。 | AS/RS for products |